

タンポポの水車を作ろう

基本的に風車になるものなら何だって水車にはなる。でも、ここでは水車の方が向いているものとしてタンポポを紹介します。茎が水にぬれたときの性質は覚えておくといろいろ応用できます。

時間 30分程度

場所 川、水辺

人数 何人でも

季節 春

用具 タンポポの茎、ナイフ、針金（もしくは、細い枝、マツ葉）、木の枝

ながれ

1. なるべく茎の太いしっかりとしたタンポポを選ぶ。
2. ナイフで図のように茎の両はしに4か所か8か所切れ込みを入れる。
3. 水につけると、切れ込みがそり返るので水車ができる。
4. 茎に針金か細い枝、またはマツ葉を入れて、木の枝などで流れにかける。軽いので弱い流れでもクルクル回るよ。

■参考

イタドリも中が中空なので水車になるよ。でも、春先の若い茎を使わないと、水に入れても切れ込みがそらないので注意。

